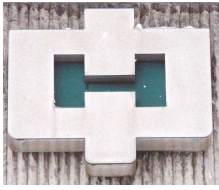


教育目標 「 豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒 」

重点目標 「 豊かな心 確かな学力 健やかな身体 」



あ さ ひ こ
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成31年1月28日(月) 第19号

著・編 校長 宇治 正明 (TEL 66-2058)

自分の感受性くらい

1月23日、新潟日報の「受験シーズン」という見出しで書かれたコラムに目がとまりました。そこである詩の一部が紹介されていました。それは詩人、茨木のり子さんの作品でした。私は詩全体が気になり調べました。次のとおりです。

自分の感受性くらい

ばさばさに乾いてゆく心を
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠っておいて

気難しくなってきたのを
友人のせいにはするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか

^{いらだ}
苛立つのを
近親のせいにはするな
なにもかも下手だったのはわたくし

初心消えかかるのを
暮らしのせいにはするな
そもそもが ひよわな志しにすぎなかった

駄目なことの一切を
時代のせいにはするな
わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい
自分で守れ
ばかものよ

うまくいかないことがあったとき、誰かのせいにしてしまった。そんな経験はだれもがもっているのではないのでしょうか。私もそうです。この詩を読んで、その時の自分が恥ずかしくなりました。これから生きていく中で、私にとって、またひとつ大切にしたい言葉となりました。

なお、新聞のコラムは、受験シーズンの真ただ中、「もし試験のない時代に生まれていたら」と思っている人もいるかもしれない。そんな時は、「もし勉強したくてもできない時代に生まれていたら」と考えてみたらどうだろうか、と結ばれていました。

税関教室（薬物乱用防止）

1月16日（水）3年生を対象に、税関教室が開かれました。税関職員の方から、税関の仕事を紹介していただきました。特に薬物密輸取り締まり業務と関連して、スライドや薬物模型を使いながら、薬物の恐ろしさを詳しく教えていただきました。生徒の振り返り用紙には、薬物使用を誘われても、しっかりと断ると書かれていました。



佐渡の魅力在未来につなげよう

1月19日（土）アミューズメント佐渡大ホールで佐渡市主催の「佐渡の魅力在未来につなげよう」が開催されました。2年生代表生徒8人が参加し、3年目となる課題解決型職場体験で学んだことを発表しました。職場（「洋服の青山」と「佐渡海洋深層水」）から与えられたミッションをどのように解決していったか、また、職場体験を通して気付いた大切なこと（あいさつ、笑顔、コミュニケーション力など）について、スライドを使い、大変分かりやすく発表していました。畑野中学校の発表よかったねという声を見に来ていた方から掛けていただき、私も大変うれしく思いました。

避難訓練（地震・津波想定）

1月22日（火）今年度3回目の避難訓練を行いました。今回は地震津波対応でした。避難する経路にガラスの破片や落下物を想定した物を配置し、より実際に近い状況を作りました。また、避難中、かばんを頭上に掲げて、落下物から頭を守りながら移動する訓練を行いました。どの生徒も「お・は・し・も」（押さない、走らない、しゃべらない、戻らない）を意識した避難ができました。

地震は他の災害と違い、突然発生するのが恐ろしい点です。だからこそ、訓練をして、いざという時に適切な行動を取ることができるようにしておくことが大事なのですね。



安全確保行動 1・2・3



スキー授業

1月24日（木）1、2年生が平スキー場でスキー授業を実施しました。当日は最高気温が4度という寒い日となりましたが、元気に活動できました。初めてスキーをする生徒もいましたが、どの生徒にとってもよい経験になったことと思います。上達も早かったと聞きました。



